

2022年(令和4年)
4月(第11号)
発行: 東志賀学区
連絡協議会



ふれあい満開の春

「コミセンまつり」

地域の文化祭「コミセンまつり」につながる東志賀が3月、東志賀コミュニティセンターで開催されました。新型コロナウイルスの影響で学区のさまざまな行事が中止を余儀なくされる中、「今だからこそ、いろんな世代の方による交流の場が大切」との思いで企画。感染防止対策を徹底し、イベントは大盛況で終えることができました。

文章・神藤幸美さん(志賀2丁目)



マルシェ 住民の輪

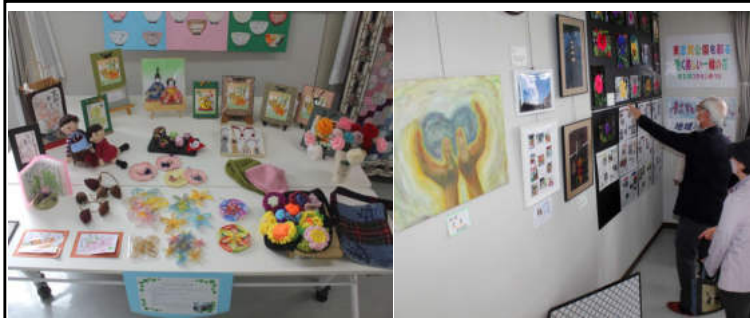
今回は作品展示に加えて、プチフリーマーケット・プチマルシェも実施。幼児教室「くれよん」のママや学区の方々のすてきな手作りアクセサリー、子供服、おもちゃなどが販売されま

した。ホワイトデーのお返しに髪飾りを選ぶ男の子や、「孫へのプレゼントにしたい」と、うれしそうにおもちゃを選ぶ方もいらつしました。作品展示・団体の活動のコーナーで

は、女性の会やフレンドリークラブ、幼児教室くれよん、アトリエここから、トワイライトの子どもたちが作品を並べました。写真や油絵、刺しゅう・キルトなど多彩な趣味を持つ住民の作品が、来場者の目を楽しませていました。

親子連れや児童、年配の方まで120人余りの方が立ち寄り、とてもにぎやかなイベントになりました。作品を眺めながらお話ししたり、マルシェの参加者同士で情報交換をしたり、学区の皆さんが得意なことや好きなものを持ち寄り、触れ合う機会があるって子どもたちが楽しそうに交流していました。次回もお待ちしております！

趣味、特技 力作ずらり



今月の題字
第11号のタイトルは、東志賀小5年の大島晴華さんの作品です。桜の下での楽しいお花見。春らしいデザインが、新年度の最初の題字を飾ってくれました。世代を問わず、引き続き、イラストを募集しています。

東志賀っ子あいさつ強化中

目を見て、自分から、笑顔で



東志賀小学校は昨年度、あいさつ運動を盛り上げるため、子どもたちのあいさつの状況についてアンケートを実施しました。保護者のほか、通学路で児童の安全を見守るボランティアにも意見を募り、「あいさつをしてくれると気持ちが良い」「元気がもらえる」などの声が寄せられました。

保護者、住民アンケート

「気持ち良い」「元気もらえる」

「マスクしてても会釈くれる」

児童会活動の一環として企画し、家庭と通学路でのあいさつについて、「目を見て」「自分から」「笑顔で」の三項目で点数を付けてもらいました。地域ごとの結

果をまとめたマップを校内に掲示し、子どもたちの意識の向上につなげていきます。個別の意見では「前よりもあいさつができるようになった」「マスクをしているので、声はあまり聞こえないが、会釈をして出てくる運動の成果が出てきている」などの声が集まりました。梅村典子教頭は「あいさつは相手に伝わること

が大事。保護者の方からも『家でも声を掛けていきたい』と意見をいた

だいた。地域の方と運動を盛り上げていきたい」と話しています。

こどもまつり大盛況

志賀学童保育が企画

志賀学童保育所による地域交流会「こどもまつり」が3月、萩野公園で開かれ、親子連れなどでにぎわいました。



輪投げやサッカー、ボーリング、お菓子のつかみどりなど、子ども向けの多彩な企画を用意。バザーには大勢の住民が訪れ、学童保育の取り組みを知ってもらうためのコーナーも設けました。

前会長の松田裕一郎さんは「イベントは地域貢献や、父母のつながりが目的。地域の方のお陰で無事、開催できました」と感謝していました。

グラウンドゴルフ早川昌子さんV



第25回東志賀学区ふれあいグラウンド・ゴルフ大会が3月、東志賀公園で開かれました。熱戦の末、早川昌子さんが総合優勝を果たしました。◇入賞者は次の皆さん。【男性】①杉原公さん②浅野昇さん③桂俊弘

さん④森鋭一さん⑤永井秋雄さん【女性】①早川昌子さん②箕浦純子さん③西尾勝美さん④丹羽桂子さん⑤川辺直美さん

町の英雄 情報募集

身近なヒーローの情報を編集部へお寄せ下さい。02-3533402(354)へ。



地域新聞「東志賀ヒーローズ」の電子版はQRコードから閲覧することが出来ます。お試しください。

2022年（令和4年）
5月（第12号）
発行：東志賀学区
連絡協議会



毎月第1土曜・朝8時半～

集合：東志賀公園

※6、11月はクリーンキャンペーン一斉町美運動



健康つながりアップ！

月1回 多世代「町そうじ」

令和4年度のスタートに合わせて、学区で恒常的に始まった取り組みを紹介したいと思います。それは「健康つながり町そうじ」です。コロナ禍でも住民の健康と結び付きを維持していくため、毎月第1土曜日の朝、地元を掃除しながら交流しませんか。高齢者も若手も子どもさんもお待ちしています。

取材・文章 東志賀学区連絡協議会会長・山崎悦男さん

今回は「町そうじ」を発案した私が、ヒーローズの「町記者」として取材、執筆することになりました。

2年余のコロナ禍で、日常の行動が制限され、体力が落ちてきている高齢者が多くなっていることが分かってきました。家の中や外出先で転倒し、お医者さんにかかった人は、「筋力が弱っていることが原因。最近、多いですよ」と言われたそうです。体力の低下に加え、人と会話する機会が減っていることも心配です。そうした課題を解決するため、企画したのが「町そうじ」です。試験

的に行った4月の第1土曜日は、学区でICT（情報通信技術）の活用に取り組みメンバーに声を掛けたところ、18名の参加がありました。5月も約20人が集まってくれました。皆さんの「健康増進」と「つながりづくり」の場となり、その結果、気が付いたら町がきれいになっていくことを期待しています。

6月4日（土）は、クリーンキャンペーンの実施日のため、それぞれの町内を清掃してください。
7月2日（土）は通常の「健康つながり町そうじ」です。東志賀公園に集合をお願いします。



町そうじで交流を深める参加者 山崎悦男さん撮影

今月の題字 第12号のタイトルイラストは、北陵中1年の石川菜央さんの作品です。ヒーローをあらわしたかわいらしい力作を届けてくれました。町記者の輪が広がり、進化するヒーローズにびったりなデザインです。

地域新聞「東志賀ヒーローズ」の電子版はQRコードから閲覧することができます。お試しください。

- ・町記者講座開催
- ・ヒーロー発掘ミーティング（交流会）企画
- ・住民同士の取材会などイベントの開催
- ・イベントの告知、仲間募集など地元団体の活動を積極的に応援

※新たに専用メールを開
設し、ヒーローズに掲載す
る情報の募集を強化しま
す。もちろん、記事も大
歓迎です！

専用メールアドレス
higashishigaheroes@gmail.com
問い合わせは編集部・鈴木龍司
080(3502)3534

みんなで作る新聞へ

進化するヒーローズ

「町記者」始動！



東志賀ヒーローズは、住民みんなで取材や記事を執筆する「町記者」プロジェクトをスタートさせました。第1弾として4月に町記者講座を企画。高齢者や子育て世代の見守り、

交通安全、消防、町内会など各分野で活躍中の20人以上が参加してくれました。市やUR、社会福祉協議会の担当者も視察に訪れ、和気あいあいと記事の書き方を学び、取り上

げた話題について話し合いました。今後も講座や交流会を企画します。誰でも情報発信できるヒーローズ。新聞づくりに関わることで、一緒に東志賀ライブを満喫しましょう。

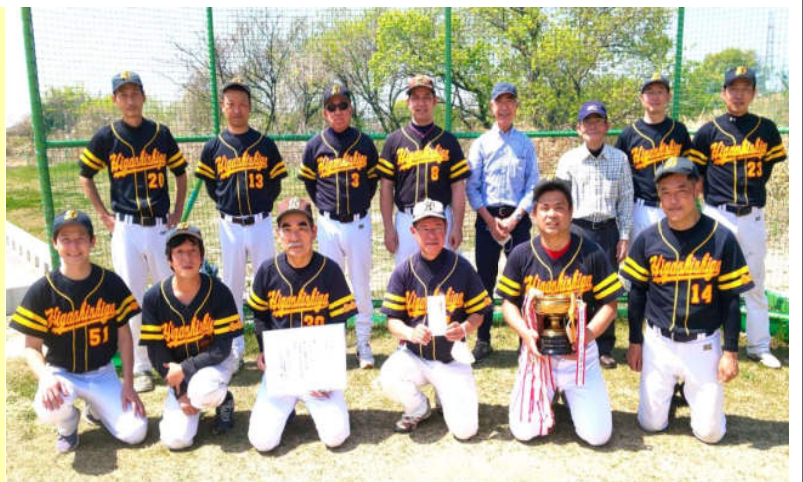
東志賀ヒーローズは令和3年6月の創刊号以来、今年5月で12号を発行するに至りました。創刊の経緯を振り返ると、アーバンラフレ志賀第1町内会長で、新聞記者が本職の鈴木龍司さんにお願したことからはまりました。民生委員・児童委員9年目の私は、「少子高齢化」の地域課題をお伝えしました。当時は新型コロナウイルスの感染拡大から1年が過ぎ、高齢者が外出を控える自粛生活が続いていました。行事もなくなり、人と話す機会も失われ、子どもも大人も将来を不安に感じていた時期でした。「大変だけど、地域の様子を知らせる新聞のようなものがあると良いね」。そんな話し合いから、ヒーローズが誕生しました。昨年6月の創刊号は「町のお助け隊奮闘中！」の見出しで、

～ヒーローズへの思い～ 学区長・山崎悦男さん

東志賀学区の支えあい事業を大きく取り上げ、明るい話題から新たな地域のつながりが始まりました。一方、これまで取材や執筆は鈴木さんが担ってききました。より地域に根差した新聞にするため、地元のみならず手分けして記事を書いてみよう、先日、第1回の「町記者講座」が開催されました。早速、11号の「コミセンまつり開催」の記事を神藤幸美さん（志賀2丁目）が担当してくれました。12号は私が執筆することになりました。間もなく創刊から1年を迎えます。ヒーローズは地域をつなぐ新聞として成果を発揮していると感じます。誰もが気軽に記事を書き、そこから楽しい会話が生まれていく。ヒーローズがそんな機会になれば幸いです。

東志賀学区のOBソフトボールチームが、令和3年度の北区リーグ戦で準優勝に輝きました。令和4年度の開幕戦となった北区のトーナメント戦でも3位に入賞しました。

OBソフト奮闘 北区リーグ2位



ジュニアチームの指導に当たるなど、付き合いが活発。チームワークの良さが好成績につながっています。新中学1年生を送り出し、新体制がスタートしたジュニアチームの刺激にもなりそうです。

2022年(令和4年)
6月(第13号)
発行:東志賀学区
連絡協議会



家具固定お任せを!

耐震ボラ出動中

防災対策はいつするの? 今でしょ!。誰がするの? あなた自身でしょ!。大震災時、役所や消防など「公助」の対応は限界があります。大地震で亡くなる人の7割を占めるのが食器棚やたんす、冷蔵庫などが転倒し、下敷きになるケース。今回は家具の固定ボランティアに取り組み「チーム北家具ボラ」をご紹介します。(文章・消防団長・犬飼邦雄さん)

全国で震度4前後の地震が多発しています。災害は時間帯を選びません。就寝時に起きたらどうするか。被害を少なくするために、部屋のレイアウトを見直し、家具をしつかり固定することが大切です。



住民に耐震の家具固定を説明する犬飼さん

気軽ににご相談を!

家具固定の申し込み・相談は北消防署

総務課

☎052(981)0119

チーム北家具ボラは結成4年目を迎えます。現在、北区内で21人がボランティア登録し、東志賀学区では私を含め、3人が活動しています。ご自身で家具の固定ができない場合、チームのメンバーがご自宅にうかがい、3点まで作業を代行します。部品の約300円を ご負担していただくだけで、作

業代は無償です。普段、過ごす時間が多い寝室や居間にある家具を優先的に固定します。課題はPR不足です。コロナの影響で一旦、中止されていた戸別訪問を順次、再開していきます。学区内では先日、老人クラ



「町美」お疲れさまでした!

全市一斉の清掃活動「町を美しくする運動」が6月4日、開催され、地元の東志賀学区でも、早朝から大勢の住民が町掃除に取り組みました。親子連れやジュニアスポーツの子どもたちなど多世代が参加。ゴミや落ち葉を拾いながら、親睦を深めました。「こうやって外へ出て、世間話しをする。良い交流の機会になりますね」。住民の女性の話が印象的でした。町をきれいにするだけでなく、コロナ禍で減っている交流の場にもなつたようです。「町美」は秋にも予定されています。学区では毎月、健康つながり町そうじ(次回予定は裏面)も実施しています。ぜひ、ご参加を。

地元の英雄 情報を募集

身近なヒーローの情報を編集部の鈴木龍司までお寄せ下さい。
☎080(3502)3534

専用メール開設しました。
higashishigaher
oes@gmail
l.com

今月の題字

第13号のタイトルのイラストは、東志賀小2年の末田紬季さんの作品です。梅雨の6月。色鮮やかなアジサイがかわいらしい作品です。題字のイラストは世代を問わず、広く募集しています。詳しい応募の方法は編集部までお電話かメールで気軽にお問い合わせ下さい。

けがしたひな鳥、発見 心優しい中学生が救出！

けがをして、飛べなくなったスズメのひな鳥を保護した男の子の話題を紹介します。この春、東志賀小を卒業し、北陵に通う少年。先日の夜、学習塾に向かう途中の道路で、羽をばたつかせているひな鳥を見つけました。男の子が取った行動は…、親鳥ともはぐれてしまったひなの運命は…。

塾が始まる時間が迫っていました。でも、よく見ると、ひなは足にけがをして、歩いているようでした。少年はとっさに拾い上げ、自転車のかごに乗せて、一緒に塾に通っている友人の家に向かいました。野外で放したら、猫などに襲われてしまうかも知れない。「ピーピー」。ヒナは足が痛いのか、不安なのか、よく鳴きます。少年と友人はひなを「ピーピー」と名付け、塾の間は電話ボックスの中で保護することに決めました。授業後、確認すると、無事、その場にとどまっ

てくれていました。少年は友人に借りた虫かごにひなを入れて帰宅。パオルと水を与え、タゲました。でも、野鳥を自宅で飼うわけにはいきませぬ。翌日、お母さんが庭に放して様



少年が保護したスズメのひな



子を観察すると、足を引きずるように草むら移動し、「ピーピー」と鳴き続けます。しばらくして、驚くべき光景を目撃します。親鳥がやってきました。お迎えが来て来たのです。2羽はゆつくりと歩いてその場を離れていきました。お母さんからその話を聞いた少年は「自然界はすごいなあ」とびっくり。「お家に帰れて良かった。またこういうことがあったら同じように手助けしたいです」

お散歩感覚で防犯パト

町内会の役員ら大勢が集まり、一時間ほど地域を巡回します。活動は役員以外の参加も大歓迎です。息が詰まりがちなコロナ禍。防犯パトは運動と交流に最適な場ですよ。

お散歩しながら学区の安全を一緒に見守りませんか？防犯委員会は、奇数月の25日夜、夜間合同防犯パトロールを企画しています。毎回、みんなまで歩こう！

次回は7月25日(月)
午後6時50分@稚児宮公園集合

恒例の「東志賀学区わが街ウォーキング大会」が5月22日、学区一帯を巡るコースで開かれました。今回で15回目。コロナ禍では、高

町歩きで健康維持



ウォーク大会盛況

高齢者を中心に出歩く機会が減り、健康面で不安が広がっています。イベントには約100人が参加し、感染防止対策を徹底しながら、地元を歩きました。企画や準備、受け付け、参加者の引率で大活躍したのが、学区の体育委員の皆さん。秋には学区の運動会も開催する方向で、住民が楽しめるプログラムの検討を進めています。体育委員長の坪井勉さんは「今後、感染状況を見極めながら、コロナ禍で奪われている運動と交流の機会を皆さんに提供していきたい」と意気込んでいます。



地域新聞「東志賀ヒーローズ」の電子版の過去記事はQRコードから閲覧することが出来ます。お試し下さい。

健康つながり町そうじ
次回は7月2日(土)
朝8時半~@東志賀公園



見守る人がいる、学区の朝

毎朝、自宅から黒川駅に向かう間に、地域のために活動している方々を多く見掛けます。通勤・通学の時間帯に東志賀学区で活躍されているヒーローたちを紹介したいと思います。
(文章・神藤幸美さん||志賀2丁目)

児童に届く「お早う」 自転車故障に人の輪

朝、自宅を出ると、ゴミの仕分けをしている保健環境委員さんや、北陵中学校の前で活動するスクールポリスの方があいさつをしてくれます。国道41号では、児童の登校に付き添っている保護者や地域支えあいのボランティアの方と出会います。

「ゼロの日」には暑い中、黒川駅前の交差点で、黄色いベストを着た学区の役員の方々が歩行者を誘導してくれています。今回は児童の登下校に付き添っている保護者のお母さんにお話を聞いてみました。「そんなに、大したことは

していないので...」。ご本人は謙遜されていましたが、朝の黒川駅周辺は交通量が多く、猛スピードの自転車や、スマートフォンを見ながら歩いている人もいます。子どもたちが安全に登校できるように見守り、遅れて自宅を出た子にも声を掛けてあげる活動は、素晴らしいことだと思います。お話をうかがっている最中、そのお母さんは自転車のチェーンが外れて困っている高校生を見つけ、駆け寄りました。周りにいた大人も加わり、手を真つ黒にしながら修理をしていると、偶然、通り



がかった中学生の女の子が「ここを押さえると良いんだよ」とアドバイス。無事、チェーンをはめることができ、忙しい朝でもお互いを気に掛け合える、そんな関係がある地域です。

て、素敵だなと感じます。いつも心の中で「お疲れさまです」「ありがとうございませ」と思いながら通り過ぎていましたが、ここからは声に出してあいさつをしたいと思います。

猛暑でも交差点守る



記録的な暑さが続く中、交通委員会のメンバーや町内会長、各種団体の役員らが、黒川駅前の交差点に立って交通事故防止の街頭活動を続けています。活動は「ゼロの日」の午前7時半から8時半まで。通勤・通学ラッシュ時の安全を守ってくれています。

ふらつく男性救助も

日陰に移動させ、冷たいお茶を飲ませてあげました。幸い、大事には至らず、男性は役員に付き添われて帰宅したということです。ゼロの日の活動では、交通委員長の岡本茂彦さん、老人クラブトップの三溝芳隆さんの90代コンビをはじめ、多くのご高齢の方が暑さに耐えながら活躍されています。通勤、通学中に活動を目にした読者の皆さんは、ぜひ、あいさつやお礼の言葉を掛けてあげてください。(編集部)

今月の題字

「ヒーローズ」の売りの一つが、手描きの題字です。毎回、キッズが作品を寄せてくれていきます。もうすぐ夏休み。7月号は2作品を同時に掲載します。1ページ目はザリガニをモチーフにした東志賀小2年の寺村美咲さんの力作。2ページ目は夏の海をテーマにした5年の日置カサンドラさんの作品です。題字の詳しい応募方法は、編集部員の鈴木まで電話かメール(連絡先は裏面)でお尋ねください。

QRコード
電子版新聞



感染防止徹底 「踊りま賞」進呈



学区の「ふれあい盆踊り大会」が3年ぶりに復活します！ 8月6日午後6時〜9時まで。踊りに参加した住民には「踊りま賞」を準備。コロナ対策のため食べ物やアルコールの提供は自粛しますが、子ども向けの催しも企画しています。行事の中止が相次ぎ、触れ合いの機会を奪われてきた過去2年間。今年の夏は楽しく踊って交流を楽しみましょう！ 雨天予備日は7日。

8月6日夜@東志賀小 盆踊り復活

盆踊りの復活について学区長の山崎悦男さんは「体力低下や交流の機会の減少などコロナの影響は住民に重くのしかかっています。皆さんの健康とつながりを維持するため、国と市の方針を踏まえ、熟慮を重ねました」と説明しています。感染防止のため会場ではマスクを着用してください。ソフトドリンクをたくさん用意し、休憩タイムを確保するなど熱中症対策にも取り組みます。和気あいあいと、そして安全に。夏の思い出を一緒につくりましょう！

防犯パト参加大歓迎！

次回7月25日(月)

午後6時50分@稚児宮公園



新生東志賀保育園の皆さん、心温まるメッセージをありがとうございました！

民生児童委員協議会は6月7日、1人暮らしの高齢者の方にお弁当を配る「ふれあい給食」を実施しました。コロナ禍の2年間はご自宅まで配食する方式を採ってききましたが、お年寄りの運動不足を防ぐため、今回はコミュニ

ニテイセンターまで取りに来ていただく形での参加があり、皆さんの元気な姿を確認して、お話をしながら弁当を渡すことができました。当日は新生東志賀保育園の先生と園児さん

給食でつながり



園児のメッセージも

もお見えになり、コミセンの管理人さんに花束を渡してくれました。子どもたちは「たくさん書いてください」と書いたかわいらしいメッセージカードも届けてくれました。お弁当と一緒に渡すことができ、大変、良かったと思います。まだコロナの影響があり、通常の給食会は開けません。皆さんで集まって会食できる日を楽しみにしています。(文章・民生児童委員協議会委員長、池山千津香さん)

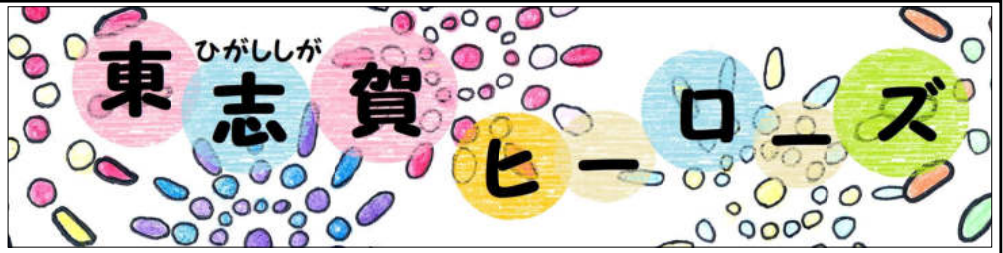
地元の英雄 情報を募集

身近なヒーローの情報を編集部の鈴木龍司までお寄せ下さい。

☎080(3502)3534

専用メールも開設しました。

higashis
higashis
s@gmail.c
om



兒子八幡社 3年ぶり茅輪神事

コロナ退治願う

伝統守る神社総代

東志賀学区の兒子八幡社(志賀町1)で7月17日、無病息災を祈願する「わくぐりまつり 茅輪神事」が営まれ、大勢の住民が参加しました。新型コロナウイルスの流行「第7波」が猛威をふるう中、神社の総代さんたちは、住民の健康を願って3年ぶりの開催に踏み切りました。今号では、神社を守り、伝統ある神事を維持してくれている総代さんの活躍や思いを紹介します。(編集部)



茅の輪をくぐって無病息災を願う住民たち

神事当日の朝、総代さんたちは小牧市まで出掛けて茅を刈り、茅の輪を手づくりしました。直前までの雨の影響で、ぬかるみでびしょ濡れ、泥だらけになり、一苦労だったそうです。「神事の中止が続いて、住民から『寂しい』という声があった。今年も雨でもやるぞ」という意気込みでした」と話してくれました。

佐々木会長の思い

兒子八幡社総代の13人を代表して、昨春から会長を務める佐々木征一郎さん(80)に活動への思いを聞きました。

老朽化課題も 住民が集う場に

総代になったきっかけは? 「人手がない」と頼まれ、助けになれるのならと引き受けました。総代は、なり手不足による高齢化が深刻ですが、地元の神社を守っていかねければならないという責任があります。仲間と同じ思いで活動しています。



社殿や社務所の管理、境内の清掃などで活躍されている

建物も老朽化で傷みが激しくなっています。10年後、どうなってしまうのか心配です。今は得意な人が、無償で奉仕的に補修してくれている状況です。

住民の方も現状に目を向けてくれるとありがたいですね。
住民に望むことは?
まずは、日ごろから気軽に神社を訪れてほしいですね。昔は婦人会の集まりや映画会、相撲大会といった交流がたくさんありました。地域の人が神社に集

今月の題字
8月号の題字は東志賀小3年の兼田優里さんの作品です。夏の風物詩、花火をカラフルに、可愛らしく描いてくれました。
手描きの題字は世代を問わずに募集しています。詳しい応募方法は、編集部へ鈴木までメールか電話(連絡先は裏面)でお問い合わせください。

総代の皆さん

- ▽会長 佐々木征一郎▽副会長 神山博高、宮原大輔
- ▽会計 加藤進▽黒川北総代 二村巖▽黒川東総代 浅井雅弘▽志賀二総代 村井忠雄▽志賀三総代 竹元章象▽志賀四総代 寺嶋真也▽囀託 井上一清、浅野昇、西川辰之、長瀬忠広(※敬称略)

まっ、楽しくやる。そうした動きが始めれば、若い人たちも地元の神社に関心をもつてくれる。次の世代に受け継いでいくきっかけにもなると思います。



電子版新聞 QRコード

■学区ふれあい盆踊り
8月6日(土)午後6時～
※予備日は7日(日)

■健康つながり町そうじ
9月3日(土)午前8時半～
集合：東志賀公園

告知板

■学区敬老会式典
9月19日(月・祝)

■防犯夜間パトロール
9月25日(日)午後6時50分～
集合：稚児宮公園



早起きして一緒にラジオ体操をする児童や高齢者

夏休みの風物詩

寿会と子ども会が体操

子どもたちにとつて、待ちに待った夏休みが始まりました。URアーバンラフレ志賀の寿会のお年寄りたちも、毎年、この時期を楽しみにしています。夏休みの恒例になった寿会と子ども会の合同ラジオ体操があるからです。新型コロナウイルスの感染拡大で外出の機会が減る中、7月下旬、体操を通じて多世代が交流を深めました。

合同体操の初日となった7月21日早朝、東志賀公園を訪れると、高齢者や児童、保護者ら約70人が集まり、ラジオから流れる音楽に合わせて元気よく、体を動かしていました。夏休みの合同体操は、子ども会側が「体操を教えてほしい」と頼んだことをきっかけに長年、続けるそうです。

寿会第2会長の松岡洋之助さんは「健康づくりと親睦を兼ねた良い機会です」、寿会第1会長の三溝芳隆さんは「子どもたちから元気と若さをもらっています」と笑顔でした。

毎朝やっています!

東志賀公園では夏休みに限らず、毎朝、住民がラジオを用意し、年中無休で体操を続けています。登校前の子どもたちが姿を見せる日もあります。開始は午前6時半。一度、早起きして公園に足を運んでみてください。

防災ピクニック

9月7日 集まれ!お友達



6月、子育て広場の「リトミック」で交流するママと子どもたち

東志賀コミュニティセンターで9月7日(水)午前10時～11時30分、子育て広場ともだちつくろの「防災ピクニック」が開かれます。参加希望者は、ぜひ、メールを送ってください。

赤ちゃんと被災した場合を想定して家から避難所までの経路を確認したり、赤ちゃんや自分、家族を守るために用意する物、いざという時に取るべき行動などを防災に関するクイズを交えて話し合ったり、盛りだくさんの内容です。これを機に改めて防災について考えてみませんか。ちよつとしたおみやげもつくのでお楽しみに。

【要予約】

higashishiga_baby@yahoo.co.jp、お子さんの名前(ひらがな)と年齢、月齢、保護者の名前をメールしてお申込みください。

(文章は、主任民生児童委員・天野美帆さん)

東志賀ヒーローズは、皆さんからの情報提供を基に編集しています。引き続き、情報をお寄せください。

現在、学区の情報発信を強化するため、仲間を大募集中です。特にSNSの扱いやウェブデザイン、チラシ作りなどが得意な人の協力を得られると助かります。もちろん、仕事や学業、子育てなど、それぞれの事情

情報発信の仲間募集

が最優先。無理なく、できる範囲でOKです。年齢不問、高度な知識も不要です。関心のある方は気軽に、編集部(鈴木龍司)URアーバンラフレ志賀第1町内会長(まで)ご連絡ください。

☎ 080 (3502) 3534

専用メール hshiga@higas@gmail.com